

世界に挑む産業界・官界トップリーダーによる 連続リレー講義

産業界・官界のトップランナーがオムニバス形式で講義をします。

今、企業でどんな人材が求められているのか？

学生に何を身に付けてほしいのか？

土曜の午後を、貴方のキャリアアップの時間に充ててください。



総合科目 I / 大学院共通科目



2016

大学院共通科目

世界に挑む産業界トップリーダーによる 大学院アドバンスト・ ディスカッションコース

産業界のトップランナーが、大学院生を対象にディスカッションを通して
社会人の基礎力として、グローバルに考え行動するために重要な
さまざまな能力を育成します。



JAPICとは

一般社団法人日本プロジェクト産業協議会（Japan Project-Industry Council：JAPIC）は、1979年に産業界の複合組織として設立されました。以来、民間諸産業による業間的協力と産官学民の交流を通じて叡智を結集し、国民の安全安心と持続可能で豊かな社会づくりに向けて、産業・経済、環境・資源・エネルギー、教育、国土・防災・都市・地域計画等、立国の根幹に関わる事項の研究並びに実現活動を行うことにより、国家的諸課題の解決に寄与し、日本の明るい未来を創生することを目的として活動して参りました。現在39業種約200社の企業、地方自治体、団体、NPO等から構成され、年間延べ1万人の実務家が公益的な立場から、1. プロジェクトの企画・実現、2. 政府関係機関への政策提言、3. 産官学民交流のためのプラットフォーム形成等活動を行っています。



JAPIC 会長

宗岡 正二

Shoji Muneoka

新日鐵住金（株） 代表取締役会長

開設趣旨

いま世界では、新興国の急成長、産業や市場のボーダレス化、ICT技術の進歩などにより、人材や情報、資金が国境を越えて行きかい、同時に国や都市・地域間の競争が激化しています。一方で少子高齢化や地球規模での環境問題、資源エネルギー問題など、世界を取り巻く様々なグローバルアジェンダに対処していくことも求められています。

この時代を生き抜く学生は、「人・社会・国に尽くす、更には国際社会に貢献する」という高い志を持って研鑽に励み、一方でこの講義で説く『社会基礎学』の習得が必要不可欠と考えます。本リレー講義では、社会基礎学とは何かを探求し、全学群生を対象に、今後の大学生活で身に付けるべき知識、教養、想像力や構想力向上をサポートします。具体的には以下の6分野にプライオリティを置き、産業界・官界・政界のトップリーダーがリレー講義を実施、皆さんとともに考えます。

- ①「グローバル化と日本のあり方」、②「政治・政策」、③「安全保障・憲法」、
- ④「経済・産業」、⑤「資源・エネルギー」、⑥「世界／アジア」（順不同）

また、大学院生を対象に、産業界のトップリーダーによるアドバンスト・ディスカッションコースを開設します。最新の社会、国際、ビジネス等分野の課題を捉え、議論を行い、深く考察していきます。

学生に期待するもの

講義全体のキーワードである、「グローバル化とは何か」、「グローバル化の中で日本は?」について理解し、様々な地球規模の課題に対して強い関心と好奇心を持ち、グローバル時代に果敢にチャレンジし活躍する人材を目指すことを期待します。



グローバル化に対する筑波大学の取り組み トランスボーダー大学への挑戦



《国際性の日常化》

- 「エリア・コモンズ」
 - ・英語対応可能なグローバル・スタッフを各支援室に配置
- 職員向け語学研修の拡充、TOEIC等受験費補助
- 外国人との交流の場を設置
 - ・コスモスカフェ（火：夕方）、コスモスチャット（水：昼休み）、GC-CHAT（不定期）を開催し、教職員・学生（外国人・日本人）が自由におしゃべり
- 教職員のグローバル化
 - ・「英語ができる」ではなく、「グローバル化」の観点でものを考える力。



《グローバル人材育成》

- 学生海外渡航支援
 - ・「はばたけ・筑大生!」
 - ・「つくばスカラシップ」
- グローバルレジデンスの設置
 - ・筑波大学の学生寮は元々「留学生会館はなく」、日本人学生との混住型。これを一歩進め、ルームシェアとしての寮を設置。
- グローバル人材育成推進事業／大学の世界展開力強化事業に基づく人材育成
 - ・GGJ (H24)
 - ・世界展開力：欧州(H23)、アセアン(H25)、ロシア(H26)、中南米(H27)が採択
 - ・スーパーグローバル大学創成事業(H26)
- 2学期6モジュール制
 - ・Cモジュール（7月中旬～8月上旬）を活用した短期海外留学



《海外大学との連携》

- Campus-in-Campus
- 海外オフィス設置（12ヶ国・地域）
- ジョイント・ディグリー／デュアル・ディグリー
- 大学間協定
 - ・61ヶ国・地域及び国際連合大学と大学間交流122協定、部局間交流194協定、合計316協定
- 語学研修
 - ・グローバル・コミュニケーション教育センター（CEGLOC）実施
- ➡ 英：オックスフォード大学、独：バイロイト大学、露：サンクトペテルブルク大学等

《入試改革》

- IB入試
- グローバル入試

《情報収集》

- TIINNS (Tsukuba Integrated International Network Navigation System)
 - ・国際連携情報の収集と統合的な索引の作成
 - ・国際連携情報・リソース・ネットワークの可視化
 - ・オンライン・オフラインの双方向コミュニケーションツールを用いた人的ネットワークの維持・強化

《海外同窓会》

- Tsukuba Alumni Network (T-Net)
 - ・主に海外に居住する筑波大学同窓生のネットワーク強化を目的として開設された「つながりの場（プラットフォーム）」

《産学連携》

- つくばグローバル・イノベーション推進機構（つくば国際特区等）
- JAPIC (Japan Project-Industry Council) との連携
 - ・連携講座の開設



春AB

社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ

オーガナイザー教員 ● 野村 港二 (教育イニシアティブ機構・教授)

第1回
4/23
【土】
13:00~16:30

【導入講義Ⅰ】筑波大学におけるグローバル人材育成方針

徳永 保 *Tamotsu Tokunaga*
本学教員

佐藤 忍 *Shinobu Sato*
本学教員

【導入講義Ⅱ】連続リレー講義の意味・意義と狙い

門脇 直哉 *Naoya Kadowaki*
JAPIC 常務理事

プロフィール 1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。
趣味：テニス、ゴルフ、読書。



【パネルディスカッション】【第1部】

グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

【パネルディスカッション】【第2部】

学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

吉村 麻央 *Mao Yoshimura*

【パネリスト】

石破茂衆議院議員 政策担当秘書

プロフィール 1972年東京生まれ。早稲田大学在学中、米コロンビア大学短期留学、政策担当秘書資格試験に合格。多くのアルバイトを経験し、卒業後、石破茂事務所に勤務、在職20年。国務大臣防衛庁長官秘書官などを務め、公務にて海外出張を多数経験。陸上自衛隊予備自衛官として15年間登録(昨年退職)。尊敬する人(?)はヨーダ。

三輪 恭之 *Yasuyuki Miwa*

【パネリスト】

森ビル(株) 都市政策企画室(JAPIC出向 事業企画部長)

プロフィール 1983年森ビル(株)入社。都市開発や官民連携事業のコンサルタント会社、森記念財団主席研究員を経て現職。この間、官民連携による開発事業のアドバイザーとして全国各地の開発プロジェクトに参画。「世界の都市総合力ランキングGlobal Power City Index」のプロデュースを担当。趣味：ダイビング、カーリング、料理、食べ歩き。

門脇 直哉 *Naoya Kadowaki*

【パネリスト】

JAPIC 常務理事

プロフィール 1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。
趣味：テニス、ゴルフ、読書。

徳永 保 *Tamotsu Tokunaga*

【パネリスト】

本学教員

佐藤 忍 *Shinobu Sato*

【パネリスト】

本学教員

講義概要 グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

第2回
5/21
【土】
13:30~16:30

1. 総合商社の活動内容 2. 少子高齢化問題にどう対応していくべきか

島崎 豊 *Yutaka Shimazaki*

丸紅(株) 執行役員 秘書部長 兼 広報部長

プロフィール 1982年丸紅(株)入社。海外におけるインフラ施設の建設および投資事業に従事し、特に上下水等の水ビジネスを先がけて推進。経営トップの財界・社外活動の補佐業務や社業の広報活動に従事。日本創生委員。慶応義塾リーディング大学院特任教授。東京都出身。学生時代：体育会グランドホッケー部所属。趣味：スイミング、ゴルフ。

講義概要 総合商社のビジネスについて具体例を挙げながら説明するとともに、日本がこれから直面する少子高齢化を取り上げ、特に雇用の面から人口減少社会における女性、高齢者、外国人労働者の活用について、わが国が進むべき方向を考える。

日本の農林水産業

末松 広行 *Hiroyuki Suematsu*

農林水産省 農村振興局長

プロフィール 1983年農林水産省入省。小泉官邸で内閣参事官、農林水産省では食料安全保障課長、政策課長、林野庁林政部長、関東農政局長等を歴任し現職。地方勤務は長崎県諫早市。著書は「食料自給率の「なぜ?」(扶桑社2008年)など多数。食育、バイオマス・ニッポン、農産物輸出を提唱。埼玉県出身。中高の剣道部から大学時代は音楽に転向。

講義概要 TPP、FTAなどの国際交渉が進展する中、日本の一次産業はいかにあるべきか?世界の例を見ながら一次産業の成長戦略を考える。



現代の金融システム

吉村 隆 *Takashi Yoshimura*

ゴールドマン・サックス証券(株)コンプライアンス部門統括 マネージングディレクター

プロフィール 1985年日本銀行入行。IMF出向、ニューヨーク事務所次長、政策委員会企画役を経て、2007年ゴールドマン・サックス証券(株)の現職に就任。日本創生委員。趣味：旅行、オペラ、ゴルフ。座右の銘：天網恢恢疎にして漏らさず。

講義概要 金融は企業や個人が経済活動を行う上で不可欠な役割を果たしている。その一方で経済に悪影響を与えることもあり、悪者扱いされることも多い。講義では金融が個人の生活や企業活動にどう役立っているかについて、具体的にみたらうで、どう活用していくことが望ましいかを考えてみたい。

途上国・新興国に対する日本の貢献 ～日本の政府開発援助を振り返る

江島 真也 *Shinya Ejima*

(独)国際協力機構(JICA) 企画部 部長

プロフィール 1983年海外経済協力基金(OECF)採用。組織改編に伴い国際協力銀行(JBIC)を経て2008年10月よりJICA勤務。この間、東南アジアや南アジアの開発途上国への政府開発援助(ODA)、とりわけ有償資金協力(円借款)を通じたインフラ事業の推進に従事。在外経験はタイ、フィリピン、スリランカ、インド。最近の趣味はインド時代に始めた Bollywood ダンス。

講義概要 そう遠くない過去に日本の途上国援助額が、10年間にわたり世界一だったことをどれだけの方が記憶しているだろう。最近では世界5位だが、これはわが国の国力低下の反映なのか、東南アジアや中国などが援助を必要としなくなったのか、はたまた新興国の援助が日本にとって代わったのか。開始から60年が過ぎた日本の政府開発援助を振り返りつつ、わが国に期待される開発途上国・新興国への支援や貢献について考える。

第3回
6/4
[土]

13:30~16:30

交通・観光ビッグデータがもたらす変革

太田 恒平 *Kohei Ohta*

(株)ナビタイムジャパン 経路探索開発責任者 兼 交通コンサルティング事業 チーフエンジニア

プロフィール 2009年(株)ナビタイムジャパン入社後、経路探索エンジン開発に従事。2012年に交通コンサルティング事業を立ち上げ、研究、開発から営業まで担当。2015年からは経路探索技術の開発責任者を兼任。学生時代は交通、地図の研究室に所属。「ITを使って交通をよくする」ことがライフワークに。

講義概要 カーナビや乗換検索といったナビゲーションサービスは、今や交通インフラの一部として定着し、月間ユニークユーザー3000万人を誇るナビタイムジャパンにはその利用実績データが大量に蓄積されています。本講義では、渋滞対策、イベント時の突発的移動需要検出、観光施設の集客、訪日外国人の回遊など、交通・観光ビッグデータの幅広い分析事例を紹介した上で、ビッグデータが交通・観光分野にもたらす変革について議論します。

日本政治の現状と課題

伊藤 宏 *Hiroshi Ito*

朝日新聞社 政治部 次長

プロフィール 1992年、朝日新聞社に入社。静岡、福島両支局員を経て、1997年に政治部員。首相官邸、自民党、外務・防衛両省などを担当。その間に、米バンダービルト大学に客員研究員として留学。2012年からアメリカ総局員(ワシントン)として、日米関係、米国政治、米大統領選などを担当。2013年4月より現職。

講義概要 日本の政治は7月の参院選を軸に動いている。安倍晋三首相や自民・公明両党は何を争点に戦おうとしているのか。野党各党は、どう対抗しようとしているのか。参院選に向けた政策・政局を見る上でのポイントを解説する。あわせて、講義の時点で話題になっている内政・外交の重要課題についても説明したい。また、政治記者はどのように取材して、皆様に記事をお届けしているかについてもお話したい。

第4回
6/18
[土]

13:30~16:30

地球温暖化対策の新たな枠組み ～ParisCOP21の歴史的合意を受けて～

竹内 純子 *Sumiko Takeuchi*

NPO法人国際環境経済研究所 理事・主席研究員

プロフィール 慶応義塾大学法学部法律学科卒業。1994年東京電力入社。2012年より現職。国立公園「尾瀬」の自然保護に10年以上携わり、農林水産省生物多様性戦略検討委員会等歴任。現在、21世紀政策研究所研究副主幹も務める。著書に『みんなの自然をみんなで守る20のヒント』、『誤解だらけの電力問題』、『まるわかり電力システム改革キーワード360』など。

講義概要 COP21において、2020年以降の新たな国際枠組みとなる「パリ協定」が採択された。一部先進国のみが義務を負う京都議定書の「失敗」を踏まえ、すべての国が気候変動対策に取り組むことを約束する初めての国際枠組みとなった。各国が自主的に目標を提出し、その進捗状況を国際的に検証する、ボトムアップ型のプレッジ&レビュー方式に基づくパリ協定が実効的な対策となるか、日本に求められる貢献は何かを考える。

第5回
6/25
[土]

13:30~16:30

【パネルディスカッション】 これからの資源・エネルギー・環境戦略

竹内 純子 *Sumiko Takeuchi*

▶パネリスト

NPO法人国際環境経済研究所 理事・主席研究員

プロフィール 慶応義塾大学法学部法律学科卒業。1994年東京電力入社。2012年より現職。国立公園「尾瀬」の自然保護に10年以上携わり、農林水産省生物多様性戦略検討委員会等歴任。現在、21世紀政策研究所研究副主幹も務める。著書に『みんなの自然をみんなで守る20のヒント』、『誤解だらけの電力問題』、『まるわかり電力システム改革キーワード360』など。

松尾 剛彦 *Takehiko Matsuo*

▶パネリスト

経済産業省 電力・ガス取引監視等委員会 事務局長

プロフィール 1988年通商産業省(現在の経済産業省)に入省。産業技術環境局環境政策課長、大臣官房会計課長、資源エネルギー庁総合政策課長等を経て現職。昨年取りまとめられた政府の長期エネルギー需給見通しの策定作業に携わったほか、2007年～9年には国際エネルギー機関(IEA)に出向し、G8洞爺湖サミットへの政策提言等に参与した。現職の電力・ガス取引監視等委員会は、電力システム改革等を推進するための市場監視やルール作り等を行うため昨年新設された機関。趣味は、読書、散歩、カラオケ。

山戸 昌子 *Masako Yamato*

▶パネリスト

トヨタ自動車(株) 環境部 企画室 室長

プロフィール 1992年トヨタ自動車入社。技術開発部門でのISO14001認証取得、LCAを担当。2000年に環境部へ異動し、中長期環境戦略企画、推進を担当。現在は「トヨタ環境チャレンジ2050」を策定し、実務を推進中。愛知県一宮市出身。趣味は体力づくりの為に始めたテニスです。

丸川 裕之 *Hiroyuki Marukawa*

▶コーディネーター

JAPIC 専務理事・事務局長

プロフィール 1981年、鉄鋼製造メーカーである新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。営業企画、総務、人事、秘書、環境、広報部門を歴任。他業界や財界・官界の方々と幅広く交流。2014年JAPIC入社。本連続講義を主管。趣味は全国の建築物(主として学校)巡り、東西の美術館鑑賞、読書(日本の古典、国内外の探偵・推理小説)。

秋AB

社会基礎学～グローバル人材に不可欠な教養Ⅱ

オーガナイザー教員 ● 五十嵐 浩也 (芸術系・教授、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長)

第1回
10/15
【土】
13:00~16:30

【導入講義Ⅰ】筑波大学におけるグローバル人材育成方針

徳永 保 *Tamotsu Tokunaga*
本学教員

佐藤 忍 *Shinobu Sato*
本学教員

【導入講義Ⅱ】連続リレー講義の意味・意義と狙い

丸川 裕之 *Hiroyuki Marukawa*
JAPIC 専務理事・事務局長

プロフィール 1981年、鉄鋼製造メーカーである新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。営業企画、総務、人事、秘書、環境、広報部門を歴任。他業界や財界・官界の方々と幅広く交流。2014年JAPIC入社。本連続講義を主管。趣味は全国の建築物(主として学校)巡り、東西の美術館鑑賞、読書(日本の古典、国内外の探偵・推理小説)。



【パネルディスカッション】【第1部】

グローバル化とは何か?グローバル化の中で日本は?

【パネルディスカッション】【第2部】

学生は何を学び、何を身に付けるべきか?

進藤 秀夫 *Hideo Shindo*
東北大学 理事 産学連携担当

プロフィール 1986年通商産業省入省。(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構ワシントン事務所長、経済産業省産業再生課長、紙業生活文化用品課長、大学連携推進課長、(独)産業技術総合研究所企画本部副本部長などを経て2013年7月より現職。神奈川県出身。趣味:よく食べ眠り、そして歩くこと。

永野 真紀 *Maki Nagano*
(株)日立製作所 電力・インフラシステムグループ 経営企画本部 経営戦略部 部長代理

プロフィール 入社時はシステムコンサル部署に所属し、流通、商社、電力会社などの業務改革コンサルティンクに従事。その後、電力会社の新規事業立ち上げ支援とエネルギー分野の新技術関連事業の開発に携わる。現在は人と地球の共存という視点で、サステナブル社会の構築を目指し新規事業立ち上げ業務に従事。

丸川 裕之 *Hiroyuki Marukawa*
JAPIC 専務理事・事務局長

プロフィール 1981年、鉄鋼製造メーカーである新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。営業企画、総務、人事、秘書、環境、広報部門を歴任。他業界や財界・官界の方々と幅広く交流。2014年JAPIC入社。本連続講義を主管。趣味は全国の建築物(主として学校)巡り、東西の美術館鑑賞、読書(日本の古典、国内外の探偵・推理小説)。

徳永 保 *Tamotsu Tokunaga*
本学教員

佐藤 忍 *Shinobu Sato*
本学教員

講義概要 グローバル化とは何か?日本経済の諸課題を浮き彫りにした上で、安全保障、資源、エネルギーなど様々な観点から議論を進め、日本の進むべき未来を論じる。グローバル人材とは何か?産官学の第一人者たちが次世代のリーダーに必須となる素養について論じ、この講義で学んで欲しいことを明確化する。

第2回
10/29
【土】
13:30~16:30

北東アジアの国際関係と経済界の機能

太田 誠 *Makoto Ohta*
21世紀政策研究所 事務局長

プロフィール 1986年経団連事務局入局。国際経済本部調査役(北東アジア、ロシア担当)、産業政策本部次長(産業政策、国際物流政策担当)、国際協力本部副本部長(韓国担当)を経て、2012年より現職。1991年～95年ソウル駐在。専門は李氏朝鮮の外交思想と行政過程論。博士(学術/東北大学)。

講義概要 国家の国際的なプレゼンスと産業競争力とは密接な関係にある。一方で、日本がこれまで推進してきた国際社会との連携や、産業競争力強化を担ってきた企業は、そのあり方そのものが転換期を迎えている。我々は、この状態をいかにして克服するのか。本講義では、新たな産業社会に向けた企業の対応を検討しつつ、北東アジアでのプレゼンス向上に対する経済界の取り組みを論じる。

都市のソリューション輸出

野田 由美子 *Yumiko Noda*
PwCパートナー、PPP・インフラ部門アジア太平洋地区代表、都市ソリューションセンター長

プロフィール 日本長期信用銀行(現新生銀行)ロンドン支店プロジェクトファイナンス部次長を経て、PwC英国法人入社。日本のPFI市場の創設と発展に深く携わる。2007-09年横浜市副市長。国土交通省交通政策審議会委員、シンガポール政府CLCのUrban Solution Advisory Panelメンバー他。東京大学、ハーバードビジネススクール(MBA)卒業。

講義概要 世界のメガトレンドであるUrbanization(都市化)は、交通・環境・災害など多様な都市課題を引き起こすとともに、世界の都市間競争を加速させている。こうした中、世界の都市のリーダーは今、どのようなチャレンジに挑んでいるのか。急速な都市化を経験・克服し、環境に優れた都市を構築してきたわが国には何ができるのか。「都市ソリューション」をキーワードに、わが国の成長と世界への貢献について考える。



企業経営の現状・課題と戦略

佐藤 博恒 *Hirotsune Sato*

新日鐵住金(株) 常務執行役員 人事労政・業務プロセス改革推進 管掌

プロフィール 1981年新日本製鐵(株)(現 新日鐵住金(株))入社。厚板営業部等を経て、2009年人事労政部長、2014年常務執行役員(現職)。その他、(一社)日本能率協会 人事・教育部門評議員会 評議員、慶応義塾大学博士課程教育リーディングプログラムボード会議メンバー等の活動を通じ、後進の育成に腐心。

講義概要 本講義では、常に産業の一翼を担ってきた日本の鉄鋼業が辿ってきた歴史と現状の解説を通じ、現在の日本が置かれている状況と、日本のものづくりが目指すべき成長戦略について、受講生の皆さんと共に多面的に思考してみたい。今後ますますグローバル化が進展する中で、総合力のある人材を育成し、「日本らしさ」を国際競争力の源泉にするために、我々が取り組んでいることの一部を紹介する。

Uberが示す シェアリングエコノミーの可能性

高橋 正巳 *Masami Takahashi*

Uber Japan(株) 執行役員社長

プロフィール 米国シカゴ大学卒業、ソニーに入社。テレビの新ブランド「フタバ」を全世界で立ち上げるプロジェクトを牽引。2007年パリ転勤、フランス国内のテレビ事業プロダクトマネージャーに。2011年INSEADでMBAを取得後、サンフランシスコに移り、ベンチャー企業の発掘、買収・投資・売却案件に従事。2014年にUberに入社し、日本法人の執行役員社長に就任。

講義概要 ICTの進化と普及によって、人と人が繋がる機会が加速度的に増えている。SNSというバーチャルな繋がりを始め、昨今では、リアルな資産や時間を個人同士が共有する「シェアリングエコノミー」の分野でのサービスが、世界中で台頭している。シェアリングエコノミーの代表格であるUberの事例を踏まえ、課題先進国である日本に、今後どのようなインパクトをもたらし、持続可能なソリューションを提供していくかについて考えたい。

第3回

11/19

[土]

13:30~16:30

日本経済の展望と課題

岡部 央 *Hiroshi Okabe*

(一社)共同通信社 編集局 次長

プロフィール 1983年に共同通信に入社し、日銀、財務省、首相官邸、経済産業省、外務省などで経済政策を担当。1997年から3年間、ワシントン特派員として、アジア金融危機などの取材を経験した。2011年から2年間、経済部長。その後、総務局次長兼人事労務部長を経て、2013年から編集局次長を務めている。日本の「今」を、海外に情報発信する英文雑誌の編集委員も務めた。京都市出身。

講義概要 波乱含みの国際経済情勢を読み解く鍵はどこにあるのか。高度成長期を終えた中国経済の軟着陸、構造的な原油安など世界経済の行方を展望する。民主党政権からアベノミクスまで、日本の経済運営の課題を検証しながら、人口減少時代の中での経済活性化に向けた日本の課題を考察する。

日本の安全保障環境と防衛政策

鈴木 敦夫 *Atsuo Suzuki*

防衛省 防衛政策局 次長

プロフィール 1985年防衛庁入庁。米国防大学国家戦略研究所客員研究員、運用局運用課長、運用企画局国際協力課長、防衛政策局調査課長、防衛政策局防衛政策課長、大臣官房米軍再編調整官、情報本部副本部長(兼)大臣官房審議官などを経て現職(いずれも当時の名称)。

講義概要 国際テロ組織の活動の活発化・拡散、力を背景とした現状変更の試み等、安全保障上の課題や不安定要因は、複雑かつ多様で広範にわたっており、一国のみでの対応はますます困難なものになっている。そのような中、我が国は、新しい安全保障・防衛政策によってどう対応しようとしているのか。特別な軍事知識等は不要。時事問題を扱いながら分かり易く解説したい。

第4回

12/3

[土]

13:30~16:30

我が国が直面する構造改革と社会資本整備

中原 淳 *Jun Nakahara*

国土交通省 道路局 総務課長

プロフィール 1987年東京大学法学部卒、建設省入省。ゼネコンの経営再生や道路公団等の民営化等を担当する一方、外交官としてニューヨークで米大統領選挙の分析、静岡県でまちづくりに携わる。その後、大臣秘書官、PFI/PPPを担当する官民連携政策課長、インフラ老朽化等を担当する参事官等を経て、現在、道路局総務課長。趣味は、ヴァイオリン演奏、音楽鑑賞、登山、ワインなど。

講義概要 人口減少が進む中で、インフラの老朽化、切迫する巨大地震等、地方の疲弊、激化する国際競争などにいかに対応していくか。インフラのストック効果に着目し、機能性・生産性を高める戦略的インフラマネジメントによって、ストック効果を最大化させ、将来にわたって持続可能な社会資本整備を実現していく方策について、できるだけ具体的に海外の論調も含めて紹介しながら考える。

第5回

12/17

[土]

13:30~16:30

【パネルディスカッション】社会資本整備と構造改革から見た我が国の成長戦略

中原 淳 *Jun Nakahara*

パネリスト

国土交通省 道路局 総務課長

プロフィール 1987年東京大学法学部卒、建設省入省。ゼネコンの経営再生や道路公団等の民営化等を担当する一方、外交官としてニューヨークで米大統領選挙の分析、静岡県でまちづくりに携わる。その後、大臣秘書官、PFI/PPPを担当する官民連携政策課長、インフラ老朽化等を担当する参事官等を経て、現在、道路局総務課長。趣味は、ヴァイオリン演奏、音楽鑑賞、登山、ワインなど。

平石 和昭 *Kazuaki Hiraishi*

パネリスト

(株)三菱総合研究所 政策・公共部門 副部門長

プロフィール 1984年(株)三菱総合研究所入社。運輸政策研究所やアジアパイプライン研究会への出向等を経て現職。この間、新幹線等大規模交通インフラの需要予測・経済効果分析、北東アジア天然ガスパイプラインの企画・構想立案、社会インフラ海外展開等のプロジェクトに参画。専門は、土木計画、交通経済、エネルギー経済。広島県出身。趣味：ゴルフ、テニス、音楽鑑賞、散歩。

川手 康司 *Koji Kawate*

パネリスト

みずほ銀行 産業調査部 次長

プロフィール 1992年第一勧業銀行(現みずほ銀行)入行。法人営業部門や投資銀行部門(不動産ファイナンス業務)を経て、2014年より現職。営業部では、大手流通事業者やデベロッパー等を担当。現部署におけるカバー産業は、不動産・住宅、建設・建材、建設、陸海空運、ホテル・レジャー。東京都出身。趣味：ゴルフ、読書。

門脇 直哉 *Naoya Kadowaki*

コーディネーター

JAPIC 常務理事

プロフィール 1984年新日本製鐵(株)(現新日鐵住金(株))入社。経理、厚板・建材営業、プロジェクト開発各部門を経て2012年度よりJAPIC。政・官・財・学・マスコミ・NGO等幅広く交流。広島県出身。趣味：テニス、ゴルフ、読書。

春ABC

流動化する世界とこれからの日本



混迷の度を深める世界の中で日本は？ 難局に立ち向かう皆さんの決心は？

世話教員

● 佐藤 忍 (教育企画室長、生命環境系・教授) ● 石田 東生 (システム情報系・教授) ● 野村 港二 (教育イニシアティブ機構・教授)

担当教員

田邊 弘幸 *Hiroyuki Tanabe*

筑波大学客員教授・双日(株) 顧問

プロフィール 1968年日商岩井(株)入社。双日(株)エネルギー金属資源部門長、専務執行役員、代表取締役副社長・米州総支配人などを経て2011年現職就任。ハーバード・ビジネススクールAMP修了。日本創生会委員。三重県伊勢市出身。趣味：音楽。学生時代大学のオーケストラに参加。NY駐在中はオペラ、交響楽団など演奏会詣でに熱中。3年前から男性合唱団に入団、その魅力に惹かれつつある。

指導員

5/12【木】

東平 孝幸 *Takayuki Tohei* 双日(株) 社員

プロフィール 所属：人事総務部 採用課 課長。経歴：1995年に入社し、経理・北京駐在・経営企画・秘書等 コーポレート業務を中心に従事し、2015年より現職。

新井 瑛大 *Akihiro Arai* 双日(株) 社員

プロフィール 所属：人事総務部 採用課。経歴：2013年に入社し、現在まで一貫して採用業務に従事。現在は新卒採用チームリーダーを担当。

パネリスト

7/7【木】

西原 茂 *Shigeru Nishihara* 筑波大学客員教授 双日(株) 常務執行役員

プロフィール 1986年日商岩井(株)入社。双日(株)石炭部長、経営企画部長、経営企画・IR・広報・情報企画・物流保険の担当役員などを経て2016年4月より現職。愛媛県松山市出身。高校・大学時代はラグビー部に所属。会社のラグビー部にも入部したが、その後、路線を変えて山登りを開始。現在は、ゴルフやジョギング、禅寺での早朝座禅。また、なかなか参加できなくなっているが、10年前から仲間と田んぼを借りての米作りを楽しんでいる。(2016年4月1日より、双日(株)専務執行役員就任予定。)

平井 龍太郎 *Ryutaro Hirai* 筑波大学客員教授 双日(株) 常務執行役員

プロフィール 1982年日商岩井(株)入社。双日(株)米国法人・経営企画部長、人事総務部長、秘書、人事総務の担当役員などを経て2015年4月より現職。福岡県北九州市出身。高校・大学時代は陸上部に所属。お酒とゴルフを嗜まない、商社マン・スタンダード逸脱モデルの人材。趣味は学生時代からの健脚を活かしたトレイルランと日本史。退任後の夢は、恵まれない子供達の教育。

キーワード

- ・議論を通して他者を知り、自分と異なる相手を知る事により、自己を客観的に見る訓練をすること。
- ・知らない空間を埋める作業を怠らない事により、知見を積み上げよう。
- ・自己点検作業と変革を求める人は是非参加してみよう。

第1回
5/12
【木】
13:00~

筑波大学

● 自己紹介・予め提起されたアンケートに基づく発表と議論

● ワークショップ開催

「プロジェクト体感ワークショップ（海外での事業投資案件）」

指導員：東平 孝幸(双日(株) 人事部 採用課長)、新井 瑛大(双日(株) 人事部 採用課担当)

第2回
6/9
【木】
13:00~

筑波大学

● 本ゼミのテーマ解説（資料に基づく）と全員参加の議論展開

● 事前に提起された宿題（課題）と発表、議論

第3回
7/7
【木】
13:00~

双日(株)
本社 21階

● パネルディスカッション

「日本企業の国際戦略と望まれるグローバル人材」

テーマ：日本企業の国際戦略と望まれるグローバル人材像

パネラー：西原 茂(双日(株) 常務執行役員)、平井 龍太郎(双日(株) 常務執行役員)

コーディネーター：田邊 弘幸

● ラップアップ・セッション（ゼミ全体を振り返る。課題への対応。）

(17:30~ 双日社内カフェテリアにてレセプションを開催予定)

● 履修申請期間：平成28年4月7日(木)~4月26日(火)



秋AB

テクノロジーとグローバルで拓く未来



未来を拓いて行く為には、グローバルに考え・行動すること、テクノロジーの活用（特にDisruptive Technology）が重要である。

世話教員 ● 佐藤 忍（教育企画室長、生命環境系・教授） ● 石田 東生（システム情報系・教授） ● 野村 港二（教育イニシアティブ機構・教授）

担当教員

岩田 真二郎 *Shinjiro Iwata*

株式会社日立製作所 前副社長

プロフィール 1972年4月、(株)日立製作所に入社、海外営業部門に配属となり初めて英会話に取組んだ。その後、シンガポールに6年間駐在。又、シリコンバレーで通算12年を過ごし、2社の買収会社の経営に携わった。その後、執行役専務情報・通信システム社社長などを経て、2013年、代表執行役執行副社長、2016年より現職。米国の单身赴任時代に家事全般を習得し、料理も趣味の一つとなった。

メンター

12/19 [月]

中西 宏明 *Hiroaki Nakanishi*

株式会社日立製作所
取締役会長

プロフィール 1970年(株)日立製作所に入社。コンピュータの開発、設計に従事。その後、英国の販売会社の経営とカリフォルニアでの磁気ディスク記憶装置の製造販売会社の経営再建を担当。2010年社長に任命され、会長兼CEOを経て、2016年4月より現職。多くの海外経験から海外経営者の知己多数。スタンフォード大学コンピュータ工学修士課程修了。経団連副会長。横浜出身。趣味は、学生時代、登山中に腕を磨いた料理。家事も得意。

松田 清人 *Kiyoto Matsuda*

ユニゾン・キャピタル株式会社
パートナー

プロフィール 1952年東京生れ。1975年に日本興業銀行入社。企画部門と営業部門を半々くらいに経験。2002年に合併してみずほFGに。みずほコーポレート銀行(現みずほ銀行)の執行役員、常務を経て、2007年にみずほ証券副社長。2008年にプライベートエクイティのユニゾン・キャピタルにパートナー(共同経営者)として参加。2013年にデットファンドのトパーズキャピタル創業。その他数社のベンチャー企業を支援。学生時代から社会人にかけて20年弱アメリカンフットボールをプレイ。趣味はソウル・ロック。

キーワード

夢と情熱。ビジネスは知的格闘技。Disruptive Technology。グローバルに戦う。質問力/問題発見能力/仮説構築力。

第1回
10/8
[土]
13:00~

筑波大学

● グローバルに生き・仕事をして行く

何故、今、グローバル化が必要なのか、そして、ビジネスのグローバル展開に必要な事は何か、を实ビジネスの視点・経験を踏まえて議論する。同時に、グローバルに生き・仕事をして行く為に、必要な人材像、ビジネス文化の相違についても議論・検討する。

第2回
11/19
[土]
13:00~

筑波大学

● テクノロジーで未来を拓く

何故、日本の将来にとってテクノロジーが重要かを議論・検討する。そして、「イノベーションのジレンマ」を教材に使い、テクノロジーが産業に与える影響を研究する。又、事例研究として、富士フィルム及び日立製作所を取り上げ研究する。

第3回
12/19
[月]
13:00~

都内の
日立施設

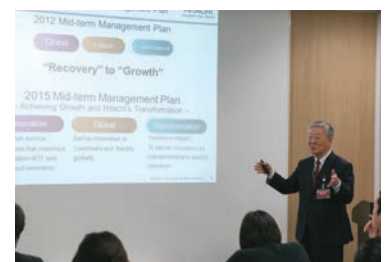
● テクノロジーで未来を拓く

第2回に引き続き、何故、日本の将来にとってテクノロジーが重要かを議論・検討する。そして、「イノベーションのジレンマ」を教材に使い、テクノロジーが産業に与える影響を研究する。又、事例研究として、富士フィルム及び日立製作所を取り上げ研究する。

● グローバルに活躍する人達からのメッセージ

企業で実際にリーダーとしてグローバルに活躍する経営者から、これまでの経験、今後の方向、課題について講演を頂き、それに対し、質疑応答を通じ理解を深める。(決まり次第お知らせ)

● 履修申請期間：平成28年4月7日(木)~10月3日(月)



学生・教職員の声 Student's and Faculty Member's Voice

出席学生
の声
Student's
Voice 01

システム情報工学研究科 社会工学専攻 1年次 **藤本 典志** Noriyuki Fujimoto

確かなネットワークと自身の正義、そして、柔軟な適応力

私は、社会人として働きながら博士後期課程で学んでいます。今回は、リレー講義とディスカッションコースを受講しました。受講は下記の要件で受講を決めました。

- ① 上流のネットワークが得られる。
- ② 受講日が限定的で短期間である。
- ③ 実務に生かせる。
- ④ 求めれば回答がある。

リレー講義では世界の日本企業を学び、ディスカッションでは、世界から見た日本を議論しました。私は、社会人にとって重要な

のは、確かなネットワークと自身の正義、そして、柔軟な適応力だと考えています。また、受講とは別に、M&A後の企業再編や問題解決の相談や、スポーツリーグへのスポンサー紹介も支援させていただき、授業では体験できない、魅力と交流が実際にありました。JAPICの先生方は、経営者層でなければ、とても会うことができない方々です。自身の正義の為に、自ら望み、実行すれば、日本でもTOPクラスのネットワークを、学生でも手に入れることが出来るチャンスです。

出席学生
の声
Student's
Voice 03

情報学群 知識情報・図書館学類 1年次 **伊藤 志暢** Shinobu Ito

活発な議論の場となることで様々な知見を得ることが出来ました

私がJAPICリレー講義を受講しようと思ったきっかけは1回目の講義です。友人に誘われ、住んでいた場所から近いところでやることを知ったため何となしで行った初回の講義で多くの社会人の方が活発としたパネルディスカッションを行われ、なおかつ、それに学生も参加するという形式に非常に共感を覚えたためです。実際、参加した講義では産業界の方から政界の方まで様々な講師の方が自分の専門分野、職業分野の話をしていただき、学生もすべての講義で積極的に質問を行い、活発な議論の場となることで様々な知見を得ることが出来ました。

例えば、総合商社の方を招いた回では、現在の日本の総合商社が置かれている現状、日本がいかにグローバル化すべきか、また、どのように海外で日本の会社が奮闘しているのかなどの産

業界のことを多く得ることができ、大学生活というという枠組みに収まらない大局的な視点で世界を見ることが出来ました。

また、防衛省の方を招いた回では、日本の防衛の現在、サイバー攻撃への対応や去年起こったISILのテロに際したインターネットの活用についてなど、多様な話を聞くことができ、私たちの今日の平和がどのように守られているのかの一端を知ることが出来ました。

このように、この講義は私たちが普段大学生として講義に参加しているだけではわからない社会のイマを知ることができ、ニュースよりナマの声を聞くことができるという貴重な機会でした。これは今後私が社会に出た際の視点に大きく影響してくると思います。ぜひ、リレー講義を受講してみてください。あなたの世界が広がるかもしれません。

教職員の声
Faculty
Member's
Voice 01



教育企画室長
生命環境系教授
佐藤 忍
Shinobu Sato

知的でエキサイティングな土曜の午後

皆さん、知的でエキサイティングな土曜の午後を春日キャンパスで過ごしてみませんか?この講義は、産業界・官界で活躍されている社会人の方々から、現代社会が直面する諸問題に関するホットでリアルな話を、実体験を交えながら聴くことができるまたとない機会です。普段、新聞やテレビのニュースでしか見聞きすることができない問題に日々接しておられる方々から、専門的な見地からの話が直に聞けるのです。学群の一年生から大学院生、そして私の様な教員までもが聴講していますが、そのお話に皆が魅了されています。

講師の先生方とのディスカッションの時間も豊富に用意されていますので、積極的に自分の意見を表明して議論に参加しませんか?教室でお会いしましょう!



出席学生
の声
Student's
Voice 02

人間総合科学研究科 疾患制御医学専攻 1年次 中根 隆浩 Takahiro Nakane

先生方の挑戦心や熱意によって、私の社会や世界を見る目が大きく変化していると実感

細胞機能や生体分子の解析を行っている私にとって、当初、本特別講義で取り上げられる社会問題・国際問題・ビジネス課題は、あまりにも自分からかけ離れているように思えました。しかし、田邊先生・武田先生・岩田先生による各講義は、私の好奇心を刺激し、普通の大学院生活では体験できない新しい世界観・価値観を提供してくれる貴重な時間であったと感じます。特に、社会に対して問題意識を持つこと、他責せず、変化の激しい社会環境に適応していくことの重要性やそのための方法論を様々な

業界の立場や視点で考察したことは、自身の大学院生活や進路にも活かすことができる有意義な学びであったと考えます。また、特別講義が終わった後に、先生方の挑戦心や熱意によって、私の社会や世界を見る目が大きく変化していると実感できるのも、この講義の特徴だと感じます。

知的好奇心に溢れ、社会や世界で何かに挑戦したいと願う大学院生にとって、このJAPIC特別講義から学び取れることは、非常に多いと思います。

出席学生
の声
Student's
Voice 04

システム情報工学研究科 社会工学専攻 1年次 濱野 百恵 Moe Hamano

「グローバル化」についてトップリーダーと受講者で討論を行い、多くの刺激を受けられる内容でした

本講義では、様々な業界・企業の事例から学ぶケースメソッドと、世界を舞台に活躍されているトップリーダーの講演から、日々の講義では得られない貴重な体験をすることが出来ました。

講義は、「グローバル化」についてトップリーダーと受講者で討論を行い、多くの刺激を受けられる内容でした。「グローバル化」の中での日本について、これまで深く考える機会が無かったこと、自分の中に様々な先入観が存在することに気が付きました。

ディスカッションでは、単純に過去の企業戦略・判断を通じた経営・戦略の基礎の体得に留まらず、その背景、地域、文化、企業、人について、より大きな視点・視野で考える重要性を感じました。本講義で学んだ大きな視点・視野の必要性を忘れず、

今後の生活にも役立てていきたいと思っています。そのきっかけを与えて頂いた本講義と講師の方々に深く感謝致します。



教職員の声
Faculty
Member's
Voice 02



大学院共通科目委員長
教育イニシアティブ機構教授
野村 港二
Koji Nomura

そうだったのか！そう考えるのか！

そうだったのか！そう考えるのか！そのタイミングで決断をするのか！データはそこまで読み込むのか！アドバンスト・ディスカッションコースは驚きの連続だ。世界をリードする企業のトップによる講義は、現実とどう向き合い、将来をどう見据えるか、受講者の専門にかかわらず考えるヒントにあふれている。そして夢。リーダーは夢を持っているからこそ、人間的な豊かさや暖かさを持って社会に責任を果たしている。この講義は、その力をつける第一歩となる。受講には、資料を読み込み、事前レポートを提出するなど相当量の勉強が必要であ

る。ディスカッションコースの名の通り、経営者としてある局面でどう決断するかといった議論になることもある。大学にいて理論やモデルで議論するのに慣れている我々にとって、現実を観て考えるまたとない機会だ。筑波大学でしか受けられないアドバンスト・ディスカッションコースで、社会のリーダーになるトレーニングを始めて欲しい。要求レベルは高いが、ここで勉強した事は、どんな道に進んでも役立つはずだ。

春AB 社会基礎学Ⅰ グローバル人材に不可欠な教養Ⅰ オーガナイザー 野村 港二	第1回 4/23 [土] 13:00~16:30	[導入講義Ⅰ] 筑波大学におけるグローバル人材育成方針 [導入講義Ⅱ] 連続リレー講義の意味・意義と狙い [パネルディスカッション] [第1部] グローバル化とは何か? グローバル化の中で日本は? [パネルディスカッション] [第2部] 学生は何を学び、何を身に付けるべきか?	徳永 保・佐藤 忍 門脇 直哉 吉村 麻央・三輪 恭之 門脇 直哉・徳永 保 佐藤 忍
	第2回 5/21 [土] 13:30~16:30	1. 総合商社の活動内容 2. 少子高齢化問題にどう対応していくべきか 日本の農林水産業	島崎 豊 末松 広行
	第3回 6/4 [土] 13:30~16:30	現代の金融システム 途上国・新興国に対する日本の貢献~日本の政府開発援助を振り返る	吉村 隆 江島 真也
	第4回 6/18 [土] 13:30~16:30	交通・観光ビッグデータがもたらす変革 日本政治の現状と課題	太田 恒平 伊藤 宏
	第5回 6/25 [土] 13:30~16:30	地球温暖化対策の新たな枠組み ~ParisCOP21の歴史的合意を受けて~ [パネルディスカッション] これからの資源・エネルギー・環境戦略	竹内 純子 竹内 純子・山戸 昌子 松尾 剛彦・丸川 裕之
秋AB 社会基礎学Ⅱ グローバル人材に不可欠な教養Ⅱ オーガナイザー 五十嵐 浩也	第1回 10/15 [土] 13:00~16:30	[導入講義Ⅰ] 筑波大学におけるグローバル人材育成方針 [導入講義Ⅱ] 連続リレー講義の意味・意義と狙い [パネルディスカッション] [第1部] グローバル化とは何か? グローバル化の中で日本は? [パネルディスカッション] [第2部] 学生は何を学び、何を身に付けるべきか?	徳永 保・佐藤 忍 丸川 裕之 進藤 秀夫・永野 真紀 丸川 裕之・徳永 保 佐藤 忍
	第2回 10/29 [土] 13:30~16:30	北東アジアの国際関係と経済界の機能 都市のソリューション輸出	太田 誠 野田 由美子
	第3回 11/19 [土] 13:30~16:30	企業経営の現状・課題と戦略 Uber が示すシェアリングエコノミーの可能性	佐藤 博恒 高橋 正巳
	第4回 12/3 [土] 13:30~16:30	日本経済の展望と課題 日本の安全保障環境と防衛政策	岡部 央 鈴木 敦夫
	第5回 12/17 [土] 13:30~16:30	我が国が直面する構造改革と社会資本整備 [パネルディスカッション] 社会資本整備と構造改革から見た我が国の成長戦略	中原 淳 中原 淳・平石 和昭 川手 康司・門脇 直哉

春ABC 流動化する世界 とこれからの日本 担当教員 田邊弘幸	第1回 5/12 [木] 13:00~	自己紹介・予め提起されたアンケートに基づく発表と議論 プロジェクト体感ワークショップ	田邊 弘幸 東平 孝幸・新井 瑛大
	第2回 6/9 [木] 13:00~	本ゼミのテーマ解説と全員参加の議論展開 事前に提起された宿題(課題)と発表、議論	田邊 弘幸
	第3回 7/7 [木] 13:00~	パネルディスカッション ラップアップ・セッション	田邊 弘幸 西原 茂・平井 龍太郎
秋AB テクノロジーと 拓く未来 担当教員 岩田 眞二郎	第1回 10/8 [土] 13:00~	グローバルに生き・仕事をして行く	岩田 眞二郎
	第2回 11/19 [土] 13:00~	テクノロジーで未来を拓く	岩田 眞二郎
	第3回 12/19 [月] 13:00~	テクノロジーで未来を拓く グローバルに活躍する人達からのメッセージ	岩田 眞二郎 中西 宏明・松田 清人